

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成26年10月14日
【四半期会計期間】	第20期第2四半期（自平成26年6月1日至平成26年8月31日）
【会社名】	株式会社ゼットン
【英訳名】	zetton inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 稲本 健一
【本店の所在の場所】	愛知県名古屋市中区栄三丁目12番23号 (同所は登記上の本店所在地で実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。)
【電話番号】	(052) 243 - 2961 (代表)
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区恵比寿西二丁目20番3号
【電話番号】	(03) 6416 - 3120 (代表)
【事務連絡者氏名】	財務経理部長 森 充
【縦覧に供する場所】	株式会社ゼットン東京本社 (東京都渋谷区恵比寿西二丁目20番3号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第19期 第2四半期連結 累計期間	第20期 第2四半期連結 累計期間	第19期
会計期間	自平成25年 3月1日 至平成25年 8月31日	自平成26年 3月1日 至平成26年 8月31日	自平成25年 3月1日 至平成26年 2月28日
売上高 (千円)	4,675,624	5,622,842	8,439,773
経常利益 (千円)	369,944	425,633	342,316
四半期(当期)純利益 (千円)	200,909	256,793	143,173
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	213,607	244,789	202,825
純資産額 (千円)	1,060,877	1,268,887	1,054,253
総資産額 (千円)	3,549,754	4,420,475	2,874,883
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	47.03	59.61	33.47
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	46.66	-	-
自己資本比率 (%)	29.9	28.7	36.7
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	603,444	505,382	489,755
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	188,035	598,546	227,595
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	182,991	524,975	412,438
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	1,009,509	1,044,103	619,569

回次	第19期 第2四半期連結 会計期間	第20期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年 6月1日 至平成25年 8月31日	自平成26年 6月1日 至平成26年 8月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	40.00	60.42

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含んでおりません。
3. 第20期第2四半期連結累計期間及び第19期における潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 平成26年3月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、第19期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期(当期)純利益金額、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### （1）業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成26年3月1日～平成26年8月31日）の連結業績は、売上高5,622百万円（前年同期比20.3%増）、営業利益401百万円（同11.4%増）、経常利益425百万円（同15.1%増）、四半期純利益256百万円（同27.8%増）と増収増益を達成いたしました。

当期間において当社グループは、ピアガーデン事業、ハワイアン事業の拡大を目的に、首都圏の百貨店、商業施設を中心に、過去最多となる16店舗の新規出店を行いました。

売上高については、既存店売上高は天候不順による影響等から前年対比98.5%となったものの、出店数の増加を主因に大幅な増収となりました。

営業利益については、出店数の増加に伴い出店費用は増加したものの、前期に出店した3店舗及びリニューアルした4店舗が巡航稼働し、また、当期に出店した店舗も順調に稼働したことに加え、当期間に出店予定であった3店舗の営業開始が第3四半期に遅れたこともあり、増益となりました。

なお、当期間には契約期間満了等に伴い4店舗の閉店も行い、当第2四半期連結累計期間末現在の店舗数は、直営店71店舗（国内69店舗（ピアガーデン20店舗含む）、海外2店舗）、FC店4店舗の合計75店舗となっております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 公共施設開発事業

契約期間満了により、レストランウェディング施設が1店舗閉店いたしました。前期にリニューアルを行った店舗「GARLANDS」を中心に、ブライダル事業が好調に推移いたしました。

この結果、当事業における売上高は1,910百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益は292百万円（同42.7%増）となり、売上高につきましては前年同期を下回るものの、営業利益は前年同期を大幅に上回る結果となりました。

#### 商業店舗開発事業

平成26年3月に大阪市阿倍野にある超高層ビル「あべのハルカス」の展望台に「SKY GARDEN 300」を、4月に大阪市京橋にてアロハテーブル事業として大阪初となる「ALOHA TABLE Kyobashi」並びに「HI-MEX BAR」を出店いたしました。また、5月以降には、商業施設「パルコ」、百貨店の「高島屋」、「伊勢丹」、「そごう」、「小田急百貨店」など合わせて7施設の屋上に12店舗のピアガーデンを新規出店いたしました。

この結果、当事業における売上高は3,712百万円（前年同期比37.1%増）、営業利益は440百万円（同0.8%増）となり、売上高、営業利益共に前年同期を上回る結果となりました。

#### （2）財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,545百万円増加の4,420百万円となりました。これは主に、有形固定資産が合計666百万円、売掛金が442百万円、現金及び預金が424百万円とそれぞれ増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,330百万円増加の3,151百万円となりました。これは主に、長期借入金が506百万円、買掛金が220百万円、リース債務が143百万円、未払費用が137百万円、未払金が84百万円とそれぞれ増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ214百万円増加の1,268百万円となりました。これは主に、利益剰余金が226百万円増加したこと等によるものであります。

#### （3）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ424百万円増加し、1,044百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次の通りであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、505百万円（前年同期は603百万円の収入）となりました。これは主に、売上債権の増加、法人税等の支払額等の資金減少要因が税金等調整前四半期純利益、仕入債務の増加、減価償却費等の資金増加要因を上回ったことによるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、598百万円（前年同期は188百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、524百万円(前年同期は182百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入の収入によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

該当事項はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	15,390,000
計	15,390,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年10月14日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	4,307,900	4,307,900	名古屋証券取引所 (セントレックス)	単元株式数 100株
計	4,307,900	4,307,900	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成26年3月1日	4,264,821	4,307,900	-	379,605	-	301,808

(注) 株式分割(1:100)によるものであります。

( 6 ) 【大株主の状況】

平成26年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
稲本 健一	愛知県名古屋市千種区	1,666,900	38.7
株式会社ラックランド	東京都新宿区西新宿 3 丁目18-20	251,100	5.8
鈴木 伸典	東京都渋谷区	142,000	3.3
株式会社NSK	東京都北区豊島 2 丁目 3 - 1	109,000	2.5
尾家産業株式会社	大阪府大阪市北区豊崎 6 丁目11-27	109,000	2.5
梶田 知嗣	愛知県名古屋市東区	94,000	2.2
細野 順三	愛知県名古屋市千種区	74,000	1.7
高島 郁夫	東京都大田区	73,000	1.7
キーコーヒー株式会社	東京都港区西新橋 2 丁目34- 4	72,700	1.7
ティー・ハンズオン1号投資事業有 限責任組合 無限責任組合員 ティー・ハンズオンインベストメン ト株式会社	愛知県名古屋市中区栄 1 丁目11- 4	65,000	1.5
計	-	2,656,700	61.7

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,307,800	43,078	単元株式数100株
単元未満株式	普通株式 100		
発行済株式総数	4,307,900		
総株主の議決権		43,078	

(注)平成26年3月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。

【自己株式等】

平成26年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
計					

2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年6月1日から平成26年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人コスモスによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	619,569	1,044,103
売掛金	105,934	547,993
商品	2,786	2,744
原材料及び貯蔵品	87,044	100,224
前払費用	72,518	73,580
繰延税金資産	37,269	32,126
その他	71,309	82,889
貸倒引当金	43	181
流動資産合計	996,388	1,883,480
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,195,082	1,482,557
工具、器具及び備品(純額)	105,985	224,535
リース資産(純額)	65,611	224,560
建設仮勘定	2,497	103,353
その他(純額)	198	1,321
有形固定資産合計	1,369,375	2,036,328
無形固定資産	31,886	29,029
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
出資金	1,000	1,000
長期前払費用	20,740	21,154
差入保証金	354,747	368,627
繰延税金資産	100,180	80,523
その他	563	330
投資その他の資産合計	477,232	471,636
固定資産合計	1,878,494	2,536,994
資産合計	2,874,883	4,420,475

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	301,457	522,007
短期借入金	20,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	360,458	411,402
リース債務	34,427	65,806
未払金	154,743	239,385
未払費用	209,170	346,620
未払法人税等	103,246	151,497
未払消費税等	43,897	65,677
前受金	82,112	107,321
その他	15,693	35,182
流動負債合計	1,325,206	1,994,901
固定負債		
長期借入金	385,477	892,433
リース債務	38,934	182,329
資産除去債務	67,886	77,448
その他	3,125	4,475
固定負債合計	495,423	1,156,685
負債合計	1,820,629	3,151,587
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	379,605	379,605
資本剰余金	301,808	301,808
利益剰余金	348,017	574,656
株主資本合計	1,029,431	1,256,070
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	24,821	12,817
その他の包括利益累計額合計	24,821	12,817
純資産合計	1,054,253	1,268,887
負債純資産合計	2,874,883	4,420,475

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	4,675,624	5,622,842
売上原価	1,401,395	1,706,989
売上総利益	3,274,228	3,915,852
販売費及び一般管理費	2,913,982	3,514,524
営業利益	360,246	401,328
営業外収益		
受取利息	229	287
協賛金収入	18,794	34,560
貸倒引当金戻入額	618	-
為替差益	374	4,725
その他	1,748	602
営業外収益合計	21,765	40,175
営業外費用		
支払利息	10,738	9,725
たな卸資産廃棄損	-	4,864
その他	1,329	1,280
営業外費用合計	12,067	15,869
経常利益	369,944	425,633
特別利益		
固定資産売却益	-	92
特別利益合計	-	92
特別損失		
投資有価証券売却損	372	-
固定資産除却損	8	1,145
減損損失	13,081	7,861
特別損失合計	13,461	9,006
税金等調整前四半期純利益	356,482	416,719
法人税、住民税及び事業税	168,538	135,125
法人税等調整額	12,965	24,799
法人税等合計	155,573	159,925
少数株主損益調整前四半期純利益	200,909	256,793
四半期純利益	200,909	256,793

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	200,909	256,793
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	12,697	12,004
その他の包括利益合計	12,697	12,004
四半期包括利益	213,607	244,789
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	213,607	244,789
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	356,482	416,719
減価償却費	125,921	145,437
減損損失	13,081	7,861
のれん償却額	1,675	2,403
貸倒引当金の増減額(は減少)	618	138
受取利息及び受取配当金	229	287
支払利息	10,738	9,725
為替差損益(は益)	374	4,725
投資有価証券売却損益(は益)	372	-
固定資産除却損	8	1,145
固定資産売却損益(は益)	-	92
売上債権の増減額(は増加)	188,851	442,059
たな卸資産の増減額(は増加)	17,283	13,137
その他の流動資産の増減額(は増加)	14,435	12,288
仕入債務の増減額(は減少)	186,272	220,549
未払消費税等の増減額(は減少)	30,238	21,779
その他の流動負債の増減額(は減少)	229,100	246,189
その他の固定負債の増減額(は減少)	1,296	2,720
その他	8,371	378
小計	681,287	602,458
利息及び配当金の受取額	214	287
利息の支払額	10,608	9,117
法人税等の支払額	67,448	88,245
営業活動によるキャッシュ・フロー	603,444	505,382
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	161,551	579,254
有形固定資産の売却による収入	-	92
無形固定資産の取得による支出	-	850
投資有価証券の売却による収入	2,728	-
貸付けによる支出	1,050	-
貸付金の回収による収入	682	642
差入保証金の差入による支出	11,964	20,573
差入保証金の回収による収入	4,613	2,541
その他	21,495	1,145
投資活動によるキャッシュ・フロー	188,035	598,546
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	-	30,000
長期借入れによる収入	50,000	734,000
長期借入金の返済による支出	189,668	176,100
ファイナンス・リース債務の返済による支出	25,175	32,891
配当金の支払額	18,148	30,032
財務活動によるキャッシュ・フロー	182,991	524,975
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,112	7,278
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	239,530	424,533
現金及び現金同等物の期首残高	769,979	619,569
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,009,509	1,044,103

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
給与手当	547,798千円	641,374千円
雑給	627,754	787,972

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に記載されている現金及び預金勘定の残高は一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に記載されている現金及び預金勘定の残高は一致しております。

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月30日 定時株主総会	普通株式	21,359	500	平成25年2月28日	平成25年5月31日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発  
生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末と比較して著しい変動はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月26日 定時株主総会	普通株式	30,155	700	平成26年2月28日	平成26年5月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発  
生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末と比較して著しい変動はありません。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公共施設 開発事業	商業店舗 開発事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,968,479	2,707,144	4,675,624	-	4,675,624
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-
計	1,968,479	2,707,144	4,675,624	-	4,675,624
セグメント利益又は損失( )	204,944	437,586	642,531	282,285	360,246

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額 282,285千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において「公共施設開発事業」セグメントでは、閉店が予定されている店舗について、13,081千円の減損損失を計上しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公共施設 開発事業	商業店舗 開発事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,910,039	3,712,803	5,622,842	-	5,622,842
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-
計	1,910,039	3,712,803	5,622,842	-	5,622,842
セグメント利益又は損失( )	292,555	440,945	733,501	332,173	401,328

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額 332,173千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において「商業店舗開発事業」セグメントでは、閉店が予定されている店舗について、7,861千円の減損損失を計上しております。

( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純利益金額又は 1 株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成25年 3 月 1 日 至 平成25年 8 月31日 )	当第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成26年 3 月 1 日 至 平成26年 8 月31日 )
( 1 ) 1 株当たり四半期純利益金額	47円03銭	59円61銭
( 算定上の基礎 )		
四半期純利益金額 ( 千円 )	200,909	256,793
普通株主に帰属しない金額 ( 千円 )		
普通株式に係る四半期純利益金額 ( 千円 )	200,909	256,793
普通株式の期中平均株式数 ( 株 )	4,271,900	4,307,900
( 2 ) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額	46円66銭	
( 算定上の基礎 )		
四半期純利益調整額 ( 千円 )		
普通株式増加数 ( 株 )	34,100	
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度から重要な変動がなかったものの概要		-

- ( 注 ) 1 . 当第 2 四半期連結累計期間における潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 2 . 平成26年 3 月 1 日を効力発生日として、普通株式 1 株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、第19期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり四半期純利益金額、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額を算定しております。

( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年10月10日

株式会社ゼットン  
取締役会 御中

### 監査法人コスモス

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 太田 修二 印

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 新開 智之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ゼットンの平成26年3月1日から平成27年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年6月1日から平成26年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ゼットン及び連結子会社の平成26年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。